

仙台市スポーツ推進計画の取り組み状況について

1. 計画の概要

(1) 基本理念

人とまちの元気を育む「スポーツシティ仙台」

(2) 4つの基本目標

「する」、「みる」、「ささえる」、「ひろがる」

(3) 計画期間

平成24年度～平成33年度 <10年間>

※ 具体的に取り組む施策や数値目標については、5年間の内容とし、5年経過後に、その時点での進捗状況や社会情勢の変化に応じて必要な見直しを行うもの

2. 計画に定めた基本目標と平成24年度～平成26年度の主な取り組み状況

「する」スポーツ

ライフステージに応じたスポーツ活動への参加機会の拡大やスポーツを生み出す環境づくりの促進を目指す。

(1) 生涯・競技スポーツの推進

- スポーツ活動の継続と参加型イベントの開催・支援
- マイタウンスポーツの活動推進
- 高齢者、障害者のスポーツ活動の支援
- 競技スポーツの推進

【これまでの取り組み】

仙台国際ハーフマラソンをはじめとする市民参加型イベントの開催や、学区民体育振興会やスポーツ少年団などの地域のスポーツ団体の活動の支援、また、シニア世代や障害者向けセミナーの開催の他、高齢者向けのポイントカードの導入などを通じて、子どもから高齢者まで生涯にわたりスポーツに親しめるような環境整備に向けた取り組みを実施した。

- ・仙台国際ハーフマラソンの開催
H24 : 11,446 人, H25 : 12,733 人, H26 : 13,583 人
- ・マイタウンスポーツデーの開催
毎年10月の体育の日に市内スポーツ施設を無料開放
参加者数 H24 : 14,741 人, H25 : 19,901 人, H26 : 15,157 人
- ・地域スポーツ団体（学区民体育振興会等）の実施イベントへの助成
H24 : 17 件（340,000 円）, H25 : 33 件（780,000 円）, H26 : 35 件（820,000 円）
- ・元気はつらつチャレンジカード発行枚数・表彰者数
H24 : 発行枚数 2,372 枚 シルバー賞 481 人 ゴールド賞 270 人 100 回 192 人
H25 : 発行枚数 1,744 枚 シルバー賞 289 人 ゴールド賞 184 人 100 回 142 人
H26 : 発行枚数 2,726 枚 シルバー賞 497 人 ゴールド賞 266 人 100 回 246 人

(2) スポーツ環境の整備・検討

- 身近なスポーツ施設の整備・検討
- 大規模スポーツ施設等のあり方の研究
- 利用しやすい施設サービスの検討
- 民間スポーツ施設等の活用

【これまでの取り組み】

利用定期券の発行による利用促進に向けた取り組みやスポーツ情報の一元的な収集・発信を実施し、施設の予約システムの再構築などにより利用しやすい施設サービスの向上に取り組んだ。

- ・施設利用定期券（トワイライト・パス）の発行枚数
 - H24 : 発行枚数 7,497 枚 (延べ 88,851 人)
 - H25 : 発行枚数 7,456 枚 (延べ 89,847 人)
- ・スポーツ情報に係る総合案内窓口「スポーツナビゲーションセンターせんだい」の開設（平成 26 年 4 月）
- ・市民利用施設予約システムの再構築（平成 25 年 11 月）

(3) 学校体育との連携

- 子どもの体力向上・スポーツ活動への取り組み
- 学校体育における健やかな体の育成
- 学校における部活動支援

【これまでの取り組み】

学校体育と連携を図りながら、子どもたちの体力向上と健康増進につながるプログラムの提供や、活動助成金の交付によりその活動の活性化と内容の充実に向けて支援を実施した。

- ・文部科学省委託事業「地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業」
(名称) パワーアップ仙台っ子コンソーシアム
(構成) 仙台市教育委員会, (公財) スポーツ振興事業団, 学区民体育振興会連合会
スポーツ推進委員協議会
- ・仙台市アスリート活用事業
 - H25 : ハードル教室 12 校, バレーボール教室 11 校, 体操教室 4 校
 - H26 : ハードル教室 12 校, バレーボール教室 15 校, 体操教室 12 校
- ・スポーツ団体等への活動助成金の交付 (H26 実績)
スポーツ少年団 : 1,100,000 円 , 中体連 (15 競技) : 5,400,000 円

「みる」スポーツ

優れた競技スポーツを観戦する機会の充実を図り、市民にスポーツの楽しさを実感してもらうとともに、スポーツを身近に感じるによりスポーツ文化の拡大を目指す。

(1) 国際・全国スポーツイベントの開催

- 国際スポーツイベントの開催・誘致
- 全国スポーツイベントの開催・誘致

【これまでの取り組み】

平成24年度から1万人規模の大会にリニューアルした仙台国際ハーフマラソンや競技レベルの高い国内大会の開催の他, シティセールスや国際交流にもつながる大規模大会の誘致活動を実施した。

- ・ 仙台国際ハーフマラソン (H26 実績)
参加者数：13,583人, 沿道観衆者数：70,000人
- ・ 国際スポーツ大会の誘致
バスケットボール女子日本代表国際親善試合
FIBA 3×3 World Tour Final 2014
2019 ラグビーワールドカップの開催都市への立候補
2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催周知活動への協力
- ・ 全国スポーツ大会の開催
全日本大学女子駅伝対校選手権大会 (H16～継続開催)
全日本実業団対抗女子駅伝競走大会 (H23～継続開催)
日本バドミントンジュニアグランプリ (H18～継続開催)

(2) プロスポーツ等の観戦機会の拡大

- プロスポーツチーム等の地域密着支援

【これまでの取り組み】

プロスポーツの地域密着を促進するとともに, 3つのプロスポーツ球団が本拠地を置く日本唯一の街である強みを生かして, 「みる」スポーツから地域の活性化を図る取り組みを実施した。

- ・ 観客動員数 (H26 実績)
ベガルタ：280,591人, 楽天：1,350,293人 (※過去最高), 89ERS：54,451人
- ・ 仙台に本拠地を置くプロスポーツ球団の実施事業への支援
 - ① ベガルタ仙台：「ベガルタ仙台ホームタウン協議会」
 - ② 東北楽天ゴールデンイーグルス：「楽天イーグルスマイチーム協議会」
 - ③ 仙台 89ERS：「仙台 89ERS サポート協議会」
 - ④ 仙台ベルフィーユ：「仙台ベルフィーユサポート協議会」
 - ⑤ ベガルタ仙台レディース：「ベガルタ仙台ホームタウン協議会」
- ・ 仙台プロスポネットの設立 (構成：ベガルタ, 楽天, 89ERS, H19 設立)

(3) スポーツ活動を応援する機運の醸成

- スポーツ大会開催情報の発信

【これまでの取り組み】

市内で開催される地域スポーツ大会等の情報発信を積極的に行い、参加や応援を促すことで「みる」機運を醸成する取り組みを実施。

- ・WEBサイト「仙台スポーツ情報ナビ」による大会情報等の発信
アクセス件数：(H24) 934,000件 (H25) 1,141,373件 (H26) 1,407,366件
- ・「スポーツコミッションせんだい」ホームページによる情報発信

「ささえる」スポーツ

スポーツボランティアの育成・支援により、スポーツを「ささえる」ことの楽しさを広め、気軽に「ささえる」活動に参加できる環境づくりに取り組むとともに、大学や企業と連携を図りながら、社会全体でスポーツを応援する体制づくりを進めていく。

(1) マンパワーの養成と活用システムの構築

- スポーツ指導者やスポーツボランティアの養成
- ボランティアネットワークの構築
- スポーツ活動等への顕彰

【これまでの取り組み】

スポーツ指導者やスポーツボランティアの養成によりスキルアップを図り、新たな人材発掘に取り組むとともに、スポーツ事故等に関する研修会の実施などにより、スポーツにおける安全確保に向けた取り組みを実施した。

- ・本市が事務局となる各地域スポーツ団体における指導者講習会の実施
- ・スポーツボランティアの養成講習会の実施
ボランティアリーダー研修会（主催：仙台プロスポーツネット）
中高生のスポーツボランティア養成講座（主催：市民スポーツボランティア SV2004）
- ・ボランティアネットワークの構築
スポーツボランティアマッチング企画
【内容】地元のボランティア団体が、ボランティアに興味のある方向けに様々な活動を紹介
東北スポーツボランティア・サミット
【内容】地域や種目を越えたボランティアの交流を図るため、それぞれの活動やおもてなし事例を紹介

(2) スポーツにおける企業・大学との連携

- 企業スポーツチームとの連携・協働
- 大学との連携・協働
- 企業からの支援策の検討

【これまでの取り組み】

地元大学からの指導者派遣により人材育成を強化するとともに、より専門性と質の高い事業の展開を目指して、大学や企業の持つ知識や見解、ノウハウを取り入れるために各スポーツ団体主催の研修会等への協力を依頼した。

- ・地域総合型スポーツクラブ（KNK スポーツクラブ ASPA）における学生との連携
東北福祉大学より施設（パークゴルフ場）と学生のマンパワーの協力を受け活動
- ・HI！ベガルタ応援事業
泉5大学（宮城大学，東北学院大学，仙台白百合女子大学，東北生活文化大学，聖和学園短期大学）がベガルタ仙台と協働で、泉中央地区のにぎわい創出と地域活性化のために、ホームゲーム開催日に様々なサポート事業を実施
- ・長町スポーツスペシャル DAY'S
ゼビオアリーナ仙台と地元商店街が中心となり、仙台 89ERS と仙台 ベルフィーユの公式戦の同日・同会場開催の盛り上げを図るため、商店街回遊企画など、地域が試合と連動する イベントを実施。

「ひろがる」スポーツ

生涯スポーツを通じて、世代間の交流や地域のコミュニティづくりを進めつつ、スポーツの素晴らしさを伝承していく。また、国内にとどまらず国外へもスポーツによる連携・交流を通じて、仙台の魅力を発信し、新たな交流の創出などまちの活性化を目指す。

(1) 将来を担う次世代の育成

- 幼児期からのスポーツに触れ合う機会の充実
- 将来性を有するジュニアアスリートの支援

【これまでの取り組み】

親子教室の開催など家族でスポーツを楽しめる機会の提供を行うとともに、地元プロスポーツ選手やトップアスリートといった高いレベルの指導者による指導機会の拡大することで、スポーツ志向の醸成とジュニアアスリート育成に向けた取り組みを実施。

- ・親子スポーツ教室等の開催
 - H24 : 7 教室 96 回開催 参加者数 13,218 人
 - H25 : 8 教室 108 回開催 参加者数 10,386 人
 - H26 : 6 教室 74 回開催 参加者数 7,915 人
- ・JPFA チャリティーサッカー「ふれあい活動“グリーンティング DAY”」
日本サッカー協会とJリーグの主催，日本プロサッカー選手会と仙台市の共催で「サッカーの力で日本を元気に！」を合言葉に開催。
親善試合の他，被災3県の施設を訪問し，子供たちとサッカーを通じた交流を図っている。

- ・全日本実業団女子駅伝「ハートフルプロジェクト～ふれあい陸上教室～」
県内の中学生を対象に、五輪メダリストによるランニング教室を実施。
- ・バレーボールフェスタ 2014
仙台ベルフィーユの選手が、バレーボールの楽しさを伝えるとともに、競技力の向上を図るため、高校生を対象にバレーボール教室を実施。

(2) スポーツによる街の活性化

- アマチュアスポーツ日本一大会の誘致
- スポーツコミッション設立の検討
- スポーツにおける広域連携

【これまでの取り組み】

大規模なスポーツイベントを誘致し、交流人口の拡大を図るとともに、スポーツに様々な角度から関わる機会を充実させ、街の活性化につながる取り組みを実施

- ・スポーツコミッションせんだいの設立（平成 26 年 12 月 13 日（土）設立）
スポーツコミッション設立を記念し、「スポーツシンポジウム」を開催